

RMAN によるバックアップ操作（コマンド）

手順 1.

rman の起動

```
rman
```

手順 2.

対象データベースへの接続

```
rman> connect TARGET ユーザー名／パスワード@接続識別子
```

※ リカバリ・カタログを使用している場合

```
rman> connect TARGET ユーザー名／パスワード@接続識別子  
ターゲット・データベースに接続されました
```

```
rman> connect CATALOG ユーザー名／パスワード@接続識別子  
リカバリ・カタログ・データベースに接続されました
```

※ @接続識別子→@IP アドレス：1521／グローバル・データベース名
での代用可能

手順 3.

バックアップ操作

```
rman> backup database ;
```

手順 4.

終了操作

```
rman> exit
```

【注意事項】

- RMAN コマンドは、Oracle サーバーからの接続しか認められていない
- クライアントから起動しても、接続で失敗する。ORA-01031: insufficient privileges が発生する
- connect の短縮形 conn は、サポートしていないため。フルスペルで入力すること
conn で入力すると、以下のメッセージとなる
RMAN-00558: 入力コマンド解析中にエラーが見つかりました。
RMAN-01009: 構文エラー: "identifier"が見つかりました
- RMAN をコマンド・モードから起動する場合には、コマンドプロンプト画面を「管理者として実行」モードとして起動する
- RMAN のスクリプト作成は、OECM コンソール画面からバックアップ指示を行ったほうが使いやすい